

学校だより

「つながり」を大切に

校長

今年度もあと一か月になりました。今年度は本校の一大イベントとなった創立150周年の行事があり、保護者や地域の方々には大変お世話になり、みなさまの本校への思いを強く感じる年になりました。残り一か月、子どもたちとともに次の学年につながる一か月にしていきたいと思えます。

さて、この「つながり」ですが、私たちの日常は、多くのつながりに支えられて成り立っています。家族や友人、近隣の方、職場の方々など、「顔の見える間柄」の人たちとのつながり。同じ社会に生きる人たちとのつながり。そして時代を超えたつながり。環境とのつながり。そうしたつながりに心を向けるといろいろなことが見えてきます。

春は、寒さが和らぎ、草木に新芽が吹き、花のつぼみを膨らませていく季節です。厳しい冬を乗り越えた先に、花開く春が待っているということは、日本に暮らす私たちにとって当たり前のように感じることもかもしれません。豊かな自然環境に恵まれた日本では、古来から、季節の移り変わりを大切に味わってきたように思います。和歌に詠み込まれた四季折々の情景や季節ごとの年中行事、旬の食材で彩られた食卓などには、自然とのつながりを感じ、そのつながりに感謝してきた先人の心が表れているように感じます。

現代に生きる私たちも、そうしたつながりに支えられていると感じています。自然環境だけでなく、人や社会、そして歴史までも視野に入れた様々な存在のつながり。普段から当たり前のように身の回りに存在していたら、そのつながりに気づかないこともあるかもしれません。でも、私たちは決して自分一人の力で生きているわけではありません。さまざまな「つながり」の中で生きています。現代の暮らしに不可欠な電気・ガス・水道を始めとするライフラインも、公共財も、日常を支える社会制度やサービスも、それらを支えてくれる人がいてこそ、私たちは生活を営むことができます。過去に生きた先人の努力や苦労の上に、今を生きる私たちの豊かで快適な暮らしがあることを忘れてはいけないと思います。同じ時代に生きる人たちとの「横」のつながり、先人たちと「縦」のつながり。自分自身を支えてくれる「縦」と「横」の様々なつながりをもう一度確認して、よりいっそう強い絆を育みながら、一人一人の心豊かな人生と住みよい社会を築いていけたら、これからの未来はきっと明るい未来になると思います。

3月は、6年生が卒業していく月です。そしてその他の学年も進級に向けて今の学級の友達とは離れます。教職員の中にも異動等で学校を離れる者もいます。子どもたちにも教職員にも、今まで一緒に過ごした人とのつながりを大切にしながら、新しい一歩を踏み出して行ってほしいと思います。

保護者、地域の皆様、この一年間、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜り、本当にありがとうございました。次年度からは、校舎改築に向けての工事も始まります。また、皆様にはいろいろとご協力をお願いすることもあると思いますが、その時にはぜひ、よろしく願いいたします。